

# 佐世保局のコロナ感染拡大 に対し要求書を提出

## 未来



郵政産業ユニオン  
**PIWU**

全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4184  
21年9月17日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。第五波と言われるコロナ感染は、全国的には減少傾向にあります。しかし郵便局での感染拡大は続いています。

佐世保局でのクラスター発生とそれに伴う配達応援社員の派遣は、全国ニュースとなり皆さんも承知と思います。佐世保局では今月3日に最初の体調不良者が報告されて以降、10日までに集配を中心に14人の感染が確認されました。また他に65人が濃厚接触者に指定されるなど、多くの社員が出勤できない状態が続いています。

この為、支社からの応援派遣に加え、10日に県内の郵便局からも応援派遣を行うとなり、人選が行われました。週明けの13日には、県内から30人強の社員が派遣されました。その後、佐賀

### 佐世保局の新型コロナ感染症クラスター発生に伴う対応についての要求書

21年9月14日

佐世保郵便局において新型コロナ感染症のクラスター発生に伴い、業務運行に大きな支障が出ている問題について、その初期対応に問題が無かったのか、感染対策が十分だったのかが問われています。支社から応援で派遣された社員からも発症者が出ており、その後の感染対策にも不安が広がり、他局から応援で派遣される予定の社員の大きな不安となっています。(中略)

よって、下記のとおり要求します。問題が急を要する事もあり9月22日までには誠意のある回答を求めます。

#### 記

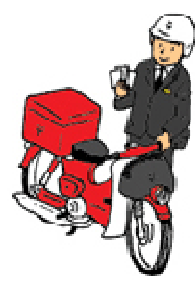
- 1:佐世保局における新型コロナ感染症発生の際、初期対応は十分であったのか感染が拡大した経緯を説明すること。
- 2:問題が発生後、支社から応援に入った職員も感染しているが、感染対策不備があったのではないかと疑われる。今後他局からの派遣にも関わる問題なので、その経緯を説明すること。
- 3:他局から佐世保局に応援に派遣された社員で、新型コロナ感染症に感染した場合は、業務外で感染したことが明らかである場合を除き、業務によって感染した場合として労災申請を行い、休業期間中の保証を行うこと。
- 4:派遣に協力した社員に食事代及び感染対策費として、一日当たり5千円を支給すること。
- 5:派遣期間が終了し長中局に復帰した社員に対し、派遣終了日から1週間特別休暇を与え自宅待機とすること。
- 6:長中局から佐世保局への応援派遣の人選はどのように行ったか明らかにすること。
- 7:このような非常事態時の応援派遣は原則正社員で対応すること。



県からも派遣されたと聞くので、支社からを除き40人ほどの社員が配達応援を行っていると思われず。しかし13日の時点で8万通を超える通常郵便に加え、3千強の書留類やゆうパケットなど荷物が滞留していたため、滞留解消は10月上旬になるとの報道もありました。

14日、閣議後の記者会見で武田総務大臣は「日本郵便においては近隣郵便局や九州支社等の応援体制を一層強化し、早期の業務正常化により利用者への影響を最小限にとどめるよう努力していただきたいと考えております」と答えています。

この発言を受け、早速応援体制が強化され、翌日には支社から10人以上が増派される他、派遣された社員へ4時間近い残業発令(配達が終わった後で順立て作業など)に加え廃休も言われたそう



14日、閣議後の記者会見で武田総務大臣は「日本郵便においては近隣郵便局や九州支社等の応援体制を一層強化し、早期の業務正常化により利用者への影響を最小限にとどめるよう努力していただきたいと考えております」と答えています。

最初の感染者確認から10日たっても、まだ体制が固まっていけないという感じに思えます。

ユニオンは感染の拡大と長期間の業務混乱は、初動体制などに問題があったのではないかと考え、対応についての要求書を提出しました(左表)。

社員が安心して勤務できるような真摯な対応を求めます。

日のように業務停止と再会を繰り返したのち、14日の発表となっており、佐世保局でも3日に業務休止後、翌日業務を再開したのち感染拡大を把握し、配達停止に追い込まれています。